

平成28年度 愛川高校 不祥事ゼロプログラム検証結果

	策定項目	実施内容	自己評価・検証
(1)	入学者選抜にかかわるもの (面接・学力検査・入学者選抜のデータ処理・入学者選抜各種書類作成)	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜要項の改善 ・過去事例紹介と対策 ・面接時の注意 ・データ点検方法 	1月に事故防止会議で重点的に採点・点検体制の重要性などについて確認した。選抜業務全般で事故防止意識の向上が見られ、事故はなかった。
(2)	成績処理にかかわるもの (試験作成・試験配布・成績作成・成績入力・調査書作成のデータ処理)	<ul style="list-style-type: none"> ・点検体制確認 ・試験監督注意事項確認 ・啓発資料作成と配布 ・データ処理確認 	6月の重点テーマとし、問題作成から成績処理まで、教員相互の点検体制やデータ処理方法について注意喚起した。シュレッダーの試験期間中の使用禁止を定めた。
(3)	情報にかかわるもの (個人情報・守秘義務・デジタルデータの扱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における個人情報 ・USB等届出書類確認 ・事例紹介資料作成と配布 	4月、6月に個人情報の保護に関する説明を行い、携帯電話への番号登録やUSBの扱いでの注意を促し、年間での事故防止につながった。
(4)	財務にかかわるもの (学校徴収金・合宿費・部費・物品購入・業者選定)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計基準確認 ・財務調査結果報告 ・啓発資料作成と配布 	5月に私費担当者を集め、副校長・教頭から私費における手続きや部活動関連費等の扱いを確認した。財務調査指導でも特に問題はなかった。私費管理のセキュリティボックスを整備した。
(5)	様々な事故にかかわるもの (交通事故・部活等の怪我対応・緊急時の危機管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導時の事故防止 ・危機管理マニュアル作成 ・啓発資料活用 	5～7月に重点的に扱い、部活動の事故、熱中症予防や体罰についての研修や注意喚起を行った。危機管理マニュアルを5月に配付したが、緊急時対応は、日頃から意識する必要があるので継続して取り組みたい。
(6)	人権にかかわるもの (セクハラ・暴言・体罰・不適切指導・パワハラ・来客業者対応・電話対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚の涵養 ・啓発資料作成と配布 ・事例紹介 ・県民目線での対応 	10月のテーマとし、日本語を母語としない生徒対応をテーマに研修会を行った。いじめ、セクハラ、性的マイノリティや外国人に対する無理解など、人権感覚の欠如に注意したい。
(7)	公務外非行にかかわるもの (わいせつ行為・酒酔い、酒気帯び運転・交通法規の遵守・政治的中立・法令遵守など)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・啓発資料活用 ・飲酒事故の防止 	不祥事は事案発生のために紹介した。起こさなくて当たり前だが、襟を正し続ける事に意義がある。交通法規遵守については2回にわたって取り上げ、大きな事故や違反はなかった。
※	初任者に対する研修指導 (サービス・業務全般・入選業務)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止会議の意義 ・啓発資料活用 ・選抜要項の解説 ・校長との個別面談 	初任者には校長面談も行き、経験や知識不足による事故の防止に努めた。